

平成 31 年度・第 3 回定例理事会議事録

1. 招集年月日 令和元年 8 月 9 日 (金)
2. 開催日時 令和元年 9 月 20 日 (金) 午後 1 時 00 分
3. 開催場所 東北遊技機商業協同組合事務局会議室
4. 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法
 理事の数 12 名 内出席理事 11 名 (議場に出席)
 監事の数 2 名 内出席監事 2 名 (議場に出席)
5. 出席理事の氏名
 高橋一則 柳 漢成 桜井 真 杉本信夫 永山恵治 山内清司
 伊藤樹里 跡治志郎 田代史孝 田苗幸治 柏木信耶
6. 出席監事の氏名
 門田祐也 柳 成浩
7. 議長の氏名
 理事長 高橋一則
8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
 該当なし
9. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

第 1 号議案 経常利益 (7、8 月分) に関する件<報告事項>

事務局より下記のとおり、令和元年 7 月及び 8 月末現在の検定書類・確認証紙の発給状況及び経営状況について、詳細に説明がなされた。

1 7 月分

(1) 検定書類、確認証紙の発給状況

| 区 分 | 検 定 書 類 | | | 確 認 証 紙 | | |
|--------|---------|-----|--------|---------|-----|--------|
| | 検 定 | 認 定 | 計 | 検 定 | 認 定 | 計 |
| 当月受理件数 | 3,980 | 0 | 3,980 | 5,736 | 0 | 5,736 |
| 前年同月 | 4,088 | 0 | 4,088 | 5,578 | 0 | 5,578 |
| 増 減 率 | -2.6% | - | -2.6% | 2.8% | - | 2.8% |
| 年度累積 | 15,597 | 0 | 15,597 | 22,465 | 0 | 22,465 |
| 前年同期累積 | 15,240 | 0 | 15,240 | 21,070 | 0 | 21,070 |
| 増 減 率 | 2.3% | - | 2.3% | 6.6% | - | 6.6% |

(2) 経営状況

○ 7 月単月の営業損益

| | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|----------|
| a 営業損益 p5 | | | | |
| 売上総利益 | 14,267,726 | | | |
| | | 販売費及び一般管理費 | 14,514,302 | -246,576 |

| | | | | |
|-------------|---------|-------------|-----|---------|
| b 営業外損益等 p6 | | | | |
| 営業外収益 | 386,600 | 営業外費用 | | |
| 貸倒引当金戻入 | | 特別損失 | | |
| | | 法事税、住民税、事業税 | 153 | 386,447 |

| | | | | |
|------------|------------|---|------------|---------|
| 当月純利益(a+b) | 14,654,326 | - | 14,514,455 | 139,871 |
|------------|------------|---|------------|---------|

○ 7月末現在の当期純利益(累計)

| | | | | |
|----------|------------|------------|------------|-------------|
| a営業損益 p5 | | | | |
| 売上総利益 | 59,984,011 | | | |
| | | 販売費及び一般管理費 | 48,894,692 | 11,089,319 |
| 前年同月 | 46,565,556 | | 58,638,994 | -12,073,438 |
| 差し引き | 13,418,455 | | -9,744,302 | 23,162,757 |
| 増減率 | 28.8% | | -16.6% | -8.2% |

| | | | | |
|------------|-----------|--------------|-----|-----------|
| b営業外損益等 p6 | | | | |
| 営業外収益 | 1,748,085 | | | |
| | | 営業外費用 | | 0 |
| 貸倒引当金戻入 | | 特別損失 | | |
| | | 法人税、住民税及び事業税 | 306 | |
| | | | | 1,747,779 |

| | | | | |
|------------|------------|---|------------|------------|
| 当期純利益(a+b) | 61,732,096 | - | 48,894,998 | 12,837,098 |
| | | | 前年同月 | 4,089,439 |
| | | | 差し引き | 8,747,659 |
| | | | 増減率 | 213.9% |

2 8月分

(1) 検定書類、確認証紙の発給状況

| 区分 | 検定書類 | | | 確認証紙 | | |
|--------|--------|----|--------|--------|----|--------|
| | 検定 | 認定 | 計 | 検定 | 認定 | 計 |
| 当月受理件数 | 3,310 | 0 | 3,310 | 4,981 | 0 | 4,981 |
| 前年同月 | 3,546 | 0 | 3,546 | 5,605 | 0 | 5,605 |
| 増減率 | -6.7% | - | -6.7% | -11.1% | - | -11.1% |
| 年度累積 | 18,907 | 0 | 18,907 | 27,446 | 0 | 27,446 |
| 前年同期累積 | 18,786 | 0 | 18,786 | 26,675 | 0 | 26,675 |
| 増減率 | 0.6% | - | 0.6% | 2.9% | - | 2.9% |

(2) 経営状況

○ 8月単月の営業損益

| | | | | |
|----------|------------|------------|-----------|-----------|
| a営業損益 p5 | | | | |
| 売上総利益 | 12,004,785 | | | |
| | | 販売費及び一般管理費 | 8,415,100 | 3,589,685 |

| | | | | |
|------------|---------|-------------|-----|---------|
| b営業外損益等 p6 | | | | |
| 営業外収益 | 791,837 | 営業外費用 | | |
| 貸倒引当金戻入 | | 特別損失 | | |
| | | 法事税、住民税、事業税 | 153 | 791,684 |

| | | | | |
|------------|------------|---|-----------|-----------|
| 当月純利益(a+b) | 12,796,622 | - | 8,415,253 | 4,381,369 |
|------------|------------|---|-----------|-----------|

○ 8月末現在の当期純利益(累計)

| | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|-------------|
| a営業損益 p5 | | | | |
| 売上総利益 | 71,988,796 | | | |
| | | 販売費及び一般管理費 | 57,309,792 | 14,679,004 |
| 前年同月 | 57,221,182 | | 70,159,520 | -12,938,338 |
| 差し引き | 14,767,614 | | -12,849,728 | 27,617,342 |
| 増減率 | 25.8% | | -18.3% | 13.5% |

| | | | | |
|------------|-----------|--------------|-----|-----------|
| b営業外損益等 p6 | | | | |
| 営業外収益 | 2,539,922 | | | |
| | | 営業外費用 | | 0 |
| 貸倒引当金戻入 | | 特別損失 | | |
| | | 法人税、住民税及び事業税 | 459 | |
| | | | | 2,539,463 |

| | | | | |
|------------|------------|---|------------|------------|
| 当期純利益(a+b) | 74,528,718 | - | 57,310,251 | 17,218,467 |
| | | | 前年同月 | 3,543,646 |
| | | | 差し引き | 13,674,821 |
| | | | 増減率 | 385.9% |

第2号議案 各種会議等開催結果に関する件<報告事項>

1 7月24日開催、全商協・第3回定例理事会

高橋理事長より、次のとおり報告がなされた。

(1) 副会長及び理事の選任について

関西遊商、草加理事長の一身上(自社)の都合による理事長退任に伴う、副会長の欠員を補充するため、全商協の定款第27条に基づき、副会長は理事会において選出すると規定されているため、本理事会で関西遊商の小西理事長を新副会長に選出し満場一致で承認された。また同様に、新理事1名を選出するため、全商の定款に従い、推薦候補者の総会承認が必要のため、この場で緊急に臨時総会を開催し、関西遊商から推薦のあった加藤誠一氏を指名し議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

(2) 全商協委員会委員及び関係団体委員等の委嘱について

次のとおり会長が指名し、本理事会で承認された。

① 機械流通委員会

| 委員長 佐々木勝司(東遊商) | | 副委員長 山本基庚(中国遊商) | | 岩下卓世(九州遊商) | | | |
|----------------|------|-----------------|-------------|------------|------|-------|-----------|
| 地区名 | 単組役職 | 氏名 | 会社名 | 地区名 | 単組役職 | 氏名 | 会社名 |
| 北海道 | 理事 | 松村 高 | (株)サッポロユウキ | 関西 | 常務理事 | 加藤 誠一 | (株)エスケイ商事 |
| | 理事 | 三原 永滋 | (株)システムサービス | | 副理事長 | 関 元 | (株)ハッコウ |
| 東北 | 常務理事 | 永山 恵治 | (株)セブン | 中国 | 副理事長 | 保山 勝弘 | (株)イーゲル |
| | 理事 | 山内 清司 | (株)第一遊機 | | 専務理事 | 山本 基庚 | (株)ウェーブ |
| 東日本 | 副理事長 | 松永 進一 | (株)マツナガ | 四国 | 理事 | 河野賢一郎 | (株)大成 |
| | 専務理事 | 佐々木勝司 | (株)エスケイ企画 | | 理事 | 柳原 邦年 | (株)アプロ |
| 中部 | 理事 | 谷野 博 | (株)共栄 | 九州 | 副理事長 | 岩下 卓世 | (株)Mitsui |
| | 理事 | 大橋 誠 | (株)大橋商会 | | 理事 | 國分 寿人 | (株)愛邦 |

② 社会貢献委員会

| 委員長 松原陽輔(中国遊商) | | 副委員長 根岸源治(東遊商) | | | | | |
|----------------|------|----------------|---------------|-----|------|-------|-----------------|
| 地区名 | 単組役職 | 氏名 | 会社名 | 地区名 | 単組役職 | 氏名 | 会社名 |
| 北海道 | 理事 | 葛西 孝宏 | (株)旭工 | 関西 | 副理事長 | 北岡 潤史 | (株)近商 |
| | 会計理事 | 櫻井 篤行 | (株)北日本ジェーシーエム | | 理事 | 西川 直也 | (株)東信 |
| 東北 | 専務理事 | 杉本 信夫 | (株)ユーテック | 中国 | 理事 | 山本 紘司 | (株)山本商事 |
| | 理事 | 柏木 信耶 | (株)カシワギ産業 | | 理事 | 上原 正明 | 段原梱包運輸(株) |
| 東日本 | 副理事長 | 根岸 源治 | 大同商事(株) | 四国 | 専務理事 | 高市 盛之 | (株)アイスコアソリューション |
| | 常務理事 | 杉木 一彦 | (株)テクシーダ | | 理事 | 黒川 雅晴 | (株)アーム・アイ |
| 中部 | 常務理事 | 山名 泰 | (株)チュアリーップ | 九州 | 副理事長 | 山田 和男 | (株)九州エース電研 |
| | 専務理事 | 内山 渉 | 武橋商事(株) | | 会計理事 | 武下 俊治 | (株)武下商会 |

③ 関係団体担当委員等

| 関係団体会議等 | 担当委員等 |
|--------------------|---|
| 中古機流通協議会(2名) | 林 和宏(中部) 佐々木勝司(東日本) |
| パチンコ・パチスロ21世紀会(2名) | 林 和宏(中部) 中村昌勇(東日本) |
| セキュリティ対策委員会(2名) | 山本龍彦(九州) 松原陽輔(中国) |
| 遊技機リサイクル推進委員会(2名) | 山本龍彦(九州) 松原陽輔(中国) |
| ゴト対策に関する4団体会議(1名) | ※オブザーバーとして出席 全商事務局と東日本の機械流通委員 |
| 依存問題対策推進会議(2名) | 林 和宏(中部) 小西哲也(関西) |
| 依存問題フォーラム実行委員会 | ※他の団体は事務局が中心となり出席 |
| 全機連役員及び代議員☆印が役員 | ☆林和宏(中部) ☆中村昌勇(東日本) 山本龍彦(九州) 小西哲也(関西) |
| 遊技機流通制度連絡会(2名) | 林 和宏(中部) 佐々木勝司(東日本) |
| 時代に適した風営法を求める議員連盟 | 状況において選出 |
| 警察庁との連絡会議 | 林 和宏(中部) ※会長のみ出席 |
| 日工組との定期連絡協議会 | 林 和宏(中部) 泉山和生(北海道) 高橋一則(東北) 中村昌勇(東日本) 小西哲也(関西) 松原陽輔(中国) 今村敬喜(四国) 山本龍彦(九州) |
| PSIO不正対策室会議 | 西 俊文(顧問) 石井利洋(事務局職員) ※事務局が出席 |
| (一社)日遊協関係 | 担当委員等 |
| 登録資格審査委員会 | 林 和宏(中部) 中村昌勇(東日本) |
| 正副支部長会議/連絡会議 | 中村昌勇(東日本) |
| 理事会 | 中村昌勇(東日本) 高山和生(北海道) |
| 団体加盟連絡会 | 林 和宏(中部) 今村敬喜(四国) |

(3) 第 122 回中古機流通協議会の報告について

① 平成31年5月及び6月分の確認証紙の発給状況について

・全商協確認証紙（中古用）発給状況

| 区 分 | 販 売 | | チェーン店移動 | | 前年対比 | |
|------|--------|--------|---------|---------|------|------|
| | 件数 | 台数 | 件数 | 台数 | 件数 | 台数 |
| 5 月 | 17,320 | 27,152 | 25,811 | 37,474 | 108% | 107% |
| 6 月 | 15,459 | 24,375 | 23,668 | 34,485 | 98% | 100% |
| 年度累計 | 54,432 | 85,231 | 76,899 | 113,559 | 105% | 105% |

② 日本工業規格の名称が日本産業規格に変更されたことに伴い、保証書及び基板保証書の様式の改正が承認された。

③ 6号機アピールのため、9月28日に日電協と回胴によるイベントが開催される予定。

(4) 各委員会からの報告等について

① 機械流通委員会に関する報告について

新QRシステムソフト開発に関するナツメアタリ社との打合せTV会議を7月25日10時30分から開催する。関係者が視聴できるよう案内している。

② 社会貢献委員会に関する報告について

i オレンジポスターコンテストの表彰式が6月1日行われた。全商協賞受賞のポスターを地区遊商に送る。

ii パラリンピックへの寄付金100万円を予定している。今年が最後となる。

(5) 2019年6月の会計報告について

6月の収益合計が17,980千円、費用合計が15,594千円、差し引き収支額は+2,386千円(黒字)であること等の報告がなされた。

(6) 当面の諸問題について

① 6月24日開催・21世紀会の報告

i 「2019年度RSN支援金の支払い」について、2019年度のRSNへの支援金額は、21世紀会での負担額が5,400万円になる旨が提案され、負担割はホール関連5団体と全機連9団体で折半し、折半後の各団体の支払額は、それぞれの団体で決定となることが決まった。

ii 「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラムの開催結果と費用の分担」について、5月14日に開催した依存問題フォーラムが、各団体の協力により、第一部と第二部共に、ほぼ満員の参加を得て盛況に終わったことが報告され、費用の総額が約506万円となり、費用分担は、他の依存問題対策費用と同様に、ホール関係5団体と全機連9団体で折半し、折半後の負担は、各団体で決定となることが確認された。

iii 「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラムの開催結果報告書及びDVDの制作」については、開催記録の詳細な報告書とDVDを作成することになり、配布先を絞り、禁複写・禁無断転載とし、DVDへのコピーガードを掛けるこ

とになりました。費用の分担は、共通負担部分が 14 団体均等割りで、1 団体 4,825 円の負担、追加部分は希望した各団体の負担になる。

- iv 「依存問題フォーラムのプロモーション用映像資料の作成」について説明があり、社会一般に対するプロモーションとして、公開に支障のない映像資料を作成する予定で、多額の費用が掛からないように、業者選定、見積もり等を行うとのこと。
- v 「全日本社会貢献団体機構の組織変更」について、現機構を依存問題等への支援拡充をするため、組織再編を行って法人化し、業界横断型へ強化する方針にして、新法人の名称を「一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構」として設立したいと提案された。設立時は全日遊連と全日本遊技事業防犯協力連合会が社員団体となるが、業界全体で支えたいので、21 世紀会の構成団体も参加頂きたいとの報告がされた。この件は、来年のギャンブル等依存症問題啓発週間へ向けて対応を行いたいので、継続して協議を行う予定。
- vi 「6 月 24 日に開催した警察庁との連絡会」について、全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協及び回胴遊商の 6 団体と警察庁の山田課長で連絡会を開催し、協議を行い、主な内容は、高射幸性回胴式遊技機の設置比率の目標や、新基準機の適合率の件を中心に意見交換を行った。今後も継続的に実施する予定。

② 7 月 3 日開催・全機連通常総会の報告

- i 筒井会長より『令和元年度全機連役員（案）』について、全機連の副会長に、日電協の兼次理事長と、理事に日電協の小林副理事長の提案がされ、異議なく承認された。
- ii 「平成 30 年度決算報告及び令和元年度賦課金の決定の件」について、事務局より『平成 30 年度収支報告』の説明があり、収入の部は、前期繰越金含めた合計で 488 万 4,645 円、支出の部は、次期繰越金含めた合計で 488 万 4,645 円になり、収支は合致しているとの報告があった。また、令和元年度の賦課金は、前年度と同額になり、全商協の負担額は 20 万円になる。
- iii 「機構・RSN 及び依存対策に係る経費負担の件」について、各団体の今年度負担額が確認され、全商協の負担額は、推進機構が 5,527 万円、RSN が 732 万円となる。続いて、依存対策に係る経費として、依存問題フォーラムの費用が約 506 万円、有識者会議の費用が 420 万円となり、その他に RSN 出向社員経費の 4 月・5 月分の費用が掛かると報告され、各団体へは負担割に応じた額が請求される予定であるとのこと。また、来年度以降の機構と RSN の負担割について、負担を開始した平成 18 年度から現在までの経緯の説明があった。現状、日工組、日電協、全商協、回胴遊商の 4 団体が、確認証紙発給枚数に応じた負担割になっており、全体的な販売量の減少と新台の販売

が伸びないため、4団体における負担割合が変化している。そのため、4団体で協議を行い、負担割を検討することになった。

iv その他として、「機構への要望に係る回答の件」について、事務局から報告があり、2月12日に開催した役員会で挙げた、販社団体から推進機構への役員がいない等の意見と要望を文書で送付した後、4月25日に来た推進機構からの回答が読み上げられた。筒井会長からは、「機構の回答は、第三者性を重視するため、定款変更を行うことや理事数を増員することはしないとのことである。現状、推進機構の予算額は、ほぼ横ばいで変化がないため、今後の対応としては、管理遊技機の導入時等の機会をみて、見直しを考えていきたいと思う。」と発言があった。

③ 7月18日開催・日遊協定例理事会の報告

- i 新規の入会会員の申し込みが3社あり承認された。その結果、正会員323社、賛助会員81社、団体会員5団体となった。
- ii 依存症対策の一環として日遊協が進めている、本人同意なしのホールへの入店制限について、大枠は完成し現在、全日遊連に投げかけており、全日遊連の了承が得られれば、年内にスタートしたいとの説明があった。
- iii 高射幸性の回胴式遊技機の設置状況に関し、保通協における回胴式遊技機の適合率が、6月が24%、7月が(12日時点で)13%しか適合しておらず、4月に自民党の時代に適した風営法を求める議連が国家公安委員長に提言を提出した以降も、低い水準の適合率であるとの説明があった。
- iv 5月20日開催の中古機流通協議会の報告の中で、中古機流通の諸経費の改定について報告があったが、理事からの質問は無かった。
- v 日遊協の30周年記念事業の一環として進められている、「遊技業界のデータブック2019」の発刊については、8月予定を目途としている。また、日遊協のホームページからPDFをダウンロードして閲覧できる形で進めているとの説明があった。

④ 7月19日開催・日工組と全商協の定期連絡協議会の報告

- i 最初に各地区の状況として、どの地区も中古の移動台数は前年とそれほど変わっていないが、それは前年の落ち込みが酷かったためであり、かなり悪い状況であると報告した。また、ホールの状況は全国的に稼働率が悪く、ホールの閉店も特に中小ホールで増えている状況であることを説明した。
- ii 日工組より、リースの与信管理を厳しくしている所もあるが状況を確認したいと質問があったので、大手ホールに対しては低金利だったり、利息の支払いだけでも良かったりと優遇されているようだと回答した。
- iii 遊技機取扱主任者の実技試験に関する一般社団法人の立ち上げの経過報告を行った。東遊商では、8月1日に準備委員会を立ち上げ、10月1日の発足に向け、人選を進めている。

(7) その他

- ① 来年の通常総会を2020年6月9日(火)に開催する。
- ② 次回の組織委員会の開催は8月中とし、ラインで調整する。その次の組織委員会の開催を9月11日15時00分から、引き続き15時30分から理事会を開催する。
- ③ 遊運連から、関西遊商の組合員が取締役に入っていると思われる会社が、関東エリアで白ナンバーによる遊技機の運送業務を行っている内容の情報が全商事務局に寄せられている。関西遊商で該当する組合員を呼びだし、調査を行う。

2 8月2日開催、全商協・第2回機械流通委員会

山内機械流通副委員長より、次のとおり報告がなされた。

はじめに、2019年・2020年度の委員長・副委員長について、委員長に佐々木勝司(東日本)、副委員長に岩下卓世(九州)並びに山本基庚(中国)が就任した報告がなされた。

(1) 新QRシステムについて

7月24日に行った、システム開発会社アタリ社との打合せ内容を基に、点検確認帳票一括入力画面及び単組からの追加要望についての討議がなされた。

① 点検確認帳票一括入力画面

下表、**1**について交付番号欄を削除し、メーカー名欄を一段下げ、型式名欄の幅を大きくする。型式試験番号欄にコピーボタンを追加し、検定番号欄に関しては引き続き検討する。**2・3**は折りたたみ式とする。



② フォントについて

源信フォントとするが、本番機まで決めれば直しは可能であるが、別途費用が掛かる場合もある。対象様式は、保証書(別記様式第1号及び別紙)、遊技機の移動に伴う機歴連絡及書類発給等依頼書、打刻申請書。

③ 単組からの新たな追加要望について

(東遊商)

i 一括入力

本体・盤・枠の選択はあるが、主基板の選択がないので追加したほうが良い。(主基板のQRコード読み取り不可の際、手入力で入力することがあるため。)

ii 確認証紙番号入力箇所

交付番号入力箇所と並べて同じ場所に移動(コメント欄の上など)両方とも、書類発給後に入力するものなので近くにあった方が良い。

iii 型式名の窓を長く

型式名が長い際、全てが表示しないと選択間違いの原因になる。(上記①のとおり改善する。)

iv 型式試験番号をワンクリックでコピーできるように

型式試験番号をコピーし、検定番号に貼付けるので、ワンクリックでコピーできるように。(現在はドラッグしないとイケない。)

(上記①のとおり改善する。)

v 検定年月日、納品予定年月日、開店予定年月日は和暦で表示

和暦で印刷されるものなので、西暦表示のままだと間違いの原因になる。但し、検定年月日は令和以外に平成も選択できるように。

(技術的には無理ではない。概算額を提出していただく。)

(関西遊商)

i 外字(システムに反映されない旧字体等)について

(九州遊商)

i 数字が小さい

((アタリ社)バランスをとり最大値にします。)

ii 行を削除した際、下部が繰り上がり表示されるのか

((アタリ社)確認します。)

iii 交付番号とID番号を並列につなぎ合わせてはどうか

iv 上部に戻るボタンを付けてほしい

(無償で追加します。)

v 保管納品の保管場所1のみを保管日としてはどうか

(委員会満場一致。)

以上の内容を含め、(全商協)会長・副会長へ報告して、アタリ社に最終作業として依頼をする。

④ 現行機について

本番機をリリースしてから、2ヵ月間は現行版を保険のために残す。

⑤ その他

現行機と新システムとの違いがあるので、事務局担当者会議を開催しアタリ社より説明をいただくこととする。

(2) その他

① 新流通制度だけでなく、中古機流通制度でも管理者でなく遊技機管理員の立ち会いで可となるよう中古機流通協議会に変更を願っていただきたい。

② くぎ確認シートの販社負担を減らすために、組合を通じて発給できないか。

③ 取扱説明書を電子化出来ないだろうか。北遊商畠山理事長より、風営法に関わることなので、他団体を含め慎重に検討していただきたい。

3 8月8日開催、回胴遊商東北支部との合同会議

杉本社会貢献委員長より、次のとおり報告がなされた。

(1) 「広瀬川1万人プロジェクト」清掃活動について

○ 本年(9/28)も回胴遊商東北支部・東北遊商合同で清掃活動を行うこととした。

○ 清掃場所についても、今年も昨年同様「牛越橋」とすることとした。なお、清掃場所を変えることについては、今年度はスケジュール的に無理なため、懸案事項とし、来年度早期に候補地の現地視察を行い検討する。

○ 組合員への案内文書発出日は、両組合同日(8月19日)とし、締切日は8月29日とする。

○ 9月4日に行われる仙台市の実行委員会には、回胴遊商東北支部側からは渡部氏が、東北遊商側からは木幡社会貢献委員が出席するよう調整する。

(2) 「広瀬川1万人プロジェクト」清掃活動終了後の懇親会について

○ 昨年同様、本年も両組合合同による懇親会を開催することとした。

○ 場所についても、昨年同様「茂庭荘」にすることとした。

○ 茂庭荘の予約は東北遊商が、当日の買出しは回胴遊商が担当する。

○ その他詳細については、東北遊商の杉本氏と回胴遊商の田苗氏が調整を行う。

(3) 社会貢献活動等について

① 回胴遊商・鈴木遊技機流通委員から、盲導犬協会に対する寄付活動、節電省エネ運動、植樹祭等のボランティア活動について説明がなされた。

② 東北遊商・杉本社会貢献委員長から、全商協活動の一環として、鎮守の森のプロジェクト植樹祭・育樹祭、オレンジリボン運動、献血活動について、東北遊商独自の活動として、児童養護施設に対する寄付活動、警察関連公益法人に対する賛助・寄付活動、募金箱活動、その他ボランティア活動について説明がなされた。

(4) リサイクル施設の合同視察について

東北遊商・山内機械流通副委員長から、遊技機がどのように最終処分されるのか実際の作業を確認し、適正処分の認識を高めるため、リサイクル施設の視察を合同で行なってはどうかの提案がなされた。これに対し回胴遊商東北支部としては、趣旨には賛同するが、本部への手続き上、東北遊商側からの依頼文書が必要であるとされた。結果、依頼文書を含め東北遊商機械流通委員会で検討することとした。

4 8月20日開催、東北遊商・第2回社会貢献委員会

ホームページ掲載につき省略

5 8月21日開催、東北遊商・第2回機械流通委員会

ホームページ掲載につき省略

6 9月3日開催、全商協・第3回機械流通委員会

省略

7 9月11日開催、全商協・第4回定例理事会

(1) 第123回中古機流通協議会（9月5日開催）の報告について

① 令和元年7月及び8月分の確認証紙の発給状況について

・全商協確認証紙（中古用）発給状況

| 区分 | 販売 | | チェーン店移動 | | 前年対比 | |
|------|--------|---------|---------|---------|------|------|
| | 件数 | 台数 | 件数 | 台数 | 件数 | 台数 |
| 7月 | 19,006 | 29,857 | 26,548 | 38,358 | 95% | 93% |
| 8月 | 12,843 | 21,058 | 24,550 | 34,586 | 91% | 92% |
| 年度累計 | 86,281 | 136,146 | 127,997 | 186,503 | 100% | 100% |

・次回から資料として、新基準機の台数、割合も発表する予定。

② 10月1日から消費税が10%に上がることに伴い、10月1日書類発給分、販売分から10%の税率を適用することを報告。これに関し、組織委員会で確認済みなので地区遊商に通知する。

③ 新流通制度では遊技機管理員の立ち会いが認められているが、中古機流通制度でも同様に遊技機管理員の立ち会いを認めてもらい、「点検確認受渡書」、「中古遊技機確認書」、「保管・納品確認書」への署名を遊技機管理員でも可能とするよう検討してほしいと、全商協から提案した。これに対し、日遊協より、警察庁に相談の上検討しているので、今後、協議会に報告するとの発言があった。

(2) 各委員会からの報告等について

① 機械流通委員会（8月2日、9月3日開催）に関する報告について

i 新QRシステムについて、「点検確認帳票一括入力画面」を中心として、障害の修正を無償で対応できるよう要望し、ナツメアタリで改修してもらった。

- ii 検証機でのテストを 8 月末まで行い、現在は本番機でのテストを 9 月 13 日まで行う予定で、試験結果が良好であれば 9 月 20 日以降に各地区遊商の判断でリリースを行ってもらう予定としている。
- iii 管理側ソフトは、事務局で使用するソフトなので、仕様等は全商協と各地区の事務局の責任者で確認し進める。
- iv 現行 QR システムの本番機は、新 QR システムのリリース後、2 ヶ月間は万一の際に備え残しておく。月額 6 万円（税別）で 10 月、11 月を支払う予定。
- v ナツメアタリ社への開発費用の残金 1,350 万円（税込）の支払時期は、理事会で決めてもらうことが委員会で確認された。
本理事会で協議の結果、9 月 25 日付で支払うことが承認された。
- vi (株)サンセイアールアンドディ社製の「CR 牙狼 GOLD STORM 翔」の中古移動時に、メーカー指定の箱が入手できなかった際の対応について、あくまでもイレギュラーケースとして、別の箱に入れるのか、又は、ビニールに入れるのかは、各地区の判断に任せ、セキュリティーシールでしっかりと保全し、どういった保全をしたか地区で把握してもらうことにしました。
- vii 売買契約書の日付の記載方法を決めて欲しいと中部から意見が挙がったが、西暦・和暦どちらでも良いと昨年 12 月に案内しているが、「R」表記を認めるのかどうかについて意見を調整中。
- viii 今後の検討課題として、①くぎ確認シートの販社負担を減らすための方策検討②取扱説明書を電子化するための行政及び他団体との対応について、今後、協議していく予定。

② 社会貢献委員会に関する報告について

オレンジリボン運動で、11 月 10 日に『第 17 回子供の虐待死を悼み命を讃える市民集会』が、東京中央区の銀座ブロッサムで開催される。開始は 13 時となり、例年通り 3 部構成となり、最後は『鎮魂の行進』で終了となる。

各地区遊商の社会貢献委員あてに、案内の通知を送るので、参加のほどをよろしく願います。

(3) 2019 年 7 月及び 8 月の会計報告について

7 月の収益合計が 27,369 千円、費用合計が 15,990 千円、差し引き収支額は +11,379 千円(黒字)であること。8 月の収益合計が 17,927 千円、費用合計が 11,762 千円、差し引き収支額は +11,762 千円(黒字)であること。また、累計収支額は 2,157 千円(黒字)の状況であること等の報告がなされた。

(4) 当面の諸問題について

- ① 7 月 31 日開催・遊技機取扱主任者に関する規程改正の検討会の報告

日遊協から、筆記試験の免除措置について、6回連続継続者更新した者に限り、7回目更新から認めることを警察庁から了承を得たことが報告された。また、ゴールのデザインも合意した。

② 8月30日開催・警察庁との定期連絡会議の報告

高射幸性の設置比率5%について、回胴の新機種が揃っていないので期日を設けないようになりそうであるが、警察庁の山田課長から、検査の情報を公開しているので、適合する機種を開発するよう、企業努力して欲しいとの発言があった。

③ 8月30日開催・パチンコ・パチスロ産業21世紀会の報告

i 推進機構に依頼する「依存防止対策実施状況調査」の調査項目について、追加項目の説明が行われ、各団体異議無く承認された。

ii 「ギャンブル等依存問題対策推進基本計画」で、制定と公表が求められている、「ぱちんこへの依存防止対策に係る実施要綱の制定」の成案化へ向けた進捗状況について報告があり、その叩き台として「依存問題対策要綱」「ホール向け依存対策実施規程」「ホール向け依存対策マニュアル」の3段階構造で準備を進めていると説明があった。今後、第1案を9月上旬に各団体へ配布し、9月末日までに意見集約して、10月11日の有識者会議へ提出して検討を行うスケジュールとなる。

iii 全日本社会貢献団体機構の組織再編に関して協議が行われ、この団体機構を、一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構に組織再編し、まずは、全日遊連と全日防連の2団体を社員として設立し、21世紀会の構成団体に広く参加を求めることが提案され、各団体へ意見が求められた。

多くの団体が2団体での設立に反対はなかったが、各団体・傘下企業が進めている社会貢献活動全般の役割等に関する議論が深まっていない状況で、直ちに参画することは困難であるとの意見があり、各団体が一旦持ち帰り、意見の集約を行う事となった。

④ 9月4日開催・RSN通常総会及び理事会の報告

i 通常総会は、3つの議案が上程され、全て異議なく承認された。

ii 第20回理事会は、消費税法改定について、RSNが今年度から消費税の課税対象事業者となり、1,640万円程度の課税対象が見込まれ、約60万円の消費税が発生する予定。これにより10月からの増税に伴い、団体等へ負担上乗せを要請しますとの報告があり、対応は西村代表理事に一任された。

iii 報告事項として、2019年4月より、西村代表理事の業務に対する対価が支払われており、金額は、月額50万円と通勤手当との説明。

iv 相談業務の夜間延長などによる業務量増加と相談員不足を補うため、21世紀会所属の団体組合員・会員企業へ研修者の公募を実施しており、8月から(株)マルハンより1名を受け入れて、6か月間の研修を行っている。

v その他として、力武理事からは、RSN出向社員について、現状ホール関係の

団体・企業のみが出向しているので、メーカーや販社の団体・企業へも出向社員を出して頂き、業界全体で取り組んでいきたいと考えているとの発言があった。

vi また、大野理事からは、岐阜県のホールのCMでRSNのロゴが放映されたシーンを見かけたので、西村代表理事へ確認したところ許可は出していないとのことであったので、岐阜県遊協と当該ホールの本社がある愛知県遊協から、商標登録との兼ね合いもあるので、是正をお願いする連絡をしたとのこと。他県でも事例があった場合は報告をお願いしたいとのこと。

⑤ 9月11日開催・日工組との定期連絡会の報告

- i 次回連絡会から、新基準機の台数・件数のデーターを提出する。
- ii 今後外れる遊技機は約260万台と見込まれ、これらは廃棄台になるが、適正な処理になるよう注意して欲しい。
- iii 東遊商から、取扱主任者研修センターについて、資料により説明があった。
- iv 遊商が行っている点検業務と講習内容を、他の団体にも認めてもらうため、これに要した各地区の費用を集約して発信することとし、次回組織委員会まで、各地区遊商から昨年度に要した経費額を報告することとした。また、費用は別にして、内容を充実させることが大事であることの見解があった。

(5) その他

① 西顧問の契約更新について

9月30日で満了となる、西顧問との顧問契約について、これまでの報酬月額25万円であったが、完全な非常勤（必要な時に来てもらう）に変更して、報酬月額10万円に日当（2万円）と交通費の内容で締結したい旨の上程がなされ、満場一致で了承された。

② 事務局職員の人事について

石井事務局職員を10月12日付で課長に承認させる案が上程され、満場一致で了承された。

③ 次回開催日について

10月15日TV会議により、組織委員会を午後2時から、理事会を午後3時から開催する。

第3号議案 社会貢献委員会に関する件〈報告事項〉

杉本社会貢献委員長より、次のとおり説明がなされた。

1 岩沼市「千年希望の丘」育樹祭活動結果について

- (1) 開催日時 令和元年9月7日（土）10時00分～
- (2) 開催場所 岩沼市「千年希望の丘・長谷釜公園」
- (3) 参加者数 12名

| No. | 会社名 | 役職等 | 氏名 | 日当交通費報酬 |
|-----|-----|-----|----|---------|
|-----|-----|-----|----|---------|

| | | | | |
|----|----------------|----------|--------|-------------|
| 1 | (有)ユーテック | 社会貢献委員長 | 杉本 信夫 | 26,400 円 |
| 2 | (株)サクシード | 副理事長 | 柳 漢成 | 18,000 円 |
| 3 | (有)カシワギ産業 | 社会貢献副委員長 | 柏木 信耶 | 24,400 円 |
| 4 | (株)大平商会 | 社会貢献委員 | 伊藤 樹里 | 16,000 円 |
| 5 | (株)高尾 | 〃 | 中嶋 環 | 23,000 円 |
| 6 | (株)ケースペック | 〃 | 木幡 士朗 | 23,000 円 |
| 7 | 〃 | 社員 | 曾根田 博文 | 交通費 3,000 円 |
| 8 | (株)スリーエムシステム福島 | 社会貢献委員 | 宍戸 良史 | 28,000 円 |
| 9 | 〃 | 社員 | 猪股 義広 | 交通費 3,000 円 |
| 10 | (有)仙南遊機 | 社会貢献委員 | 渡邊 寛孝 | 23,000 円 |
| 11 | (株)アーク | 〃 | 大久保康二 | 33,980 円 |
| 12 | (株)東栄商事東北支店 | 副理事長 | 桜井 真 | 18,000 円 |

(4) 所要経費

日当交通費・報酬 12名分 239,780 円

2 児童養護施設視察及び移動委員会の開催について(予定)

(1) 児童養護施設視察訪問(福島県内全施設)

- ① 日 時：令和元年10月10日(木) 全日
 ② 場所等：下表

| 施設名 | 住所・電話番号 | 訪問日 | 訪問時 | グループ | 訪問者 |
|----------|---|--------|-------|------|-----------------------|
| 1 白河学園 | 福島県白河市和尚壇山2-9 TEL 0248-23-3059 | 10月10日 | 11:00 | A | 杉本委員長、柏木副委員長 大久保委員 |
| 2 堀川愛生園 | 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字丸内94 TEL 0247-33-2739 | 10月10日 | 14:00 | A | 杉本委員長、柏木副委員長 大久保委員 |
| 3 森の風学園 | 福島県石川郡玉川村四辻新田字誠訪平125番5 TEL 0247-57-3788 | 10月10日 | 16:00 | A | 杉本委員長、柏木副委員長 大久保委員 |
| 4 青葉学園 | 福島市土船字新林24番地 TEL 024-593-1022 | 10月10日 | 10:00 | B | 木幡委員、渡邊委員 |
| 5 いわき育英舎 | 福島県いわき市小川町上小川字大坂5 TEL 0246-83-1571 | 10月10日 | 14:00 | B | 木幡委員、渡邊委員 |
| 6 会津児童園 | 福島県会津若松市大戸町小谷川端5 TEL 0242-92-3250 | 10月10日 | 11:00 | C | 宍戸委員 |
| 7 アイリス学園 | 福島市在庭坂字志津山6-3 TEL 024-591-2105 | 10月10日 | 14:00 | C | 宍戸委員、伊藤委員 中嶋委員 |
| 8 福島愛育園 | 福島県福島市田沢字薮野ヶ森(つつしがもり)16 TEL 024-549-0596 | 10月10日 | 16:00 | C | 宍戸委員、伊藤委員 中嶋委員 |

(2) 移動委員会

- ① 日 時：令和元年10月11日(金) 9時30分～11時00分
 ② 場 所：ザ・セレクトン福島会議室

(3) 宿泊場所

THE CELECTON FUKUSHIMA (ザ・セレクトン福島)
 〒960-8068 福島市太田町13-73/TEL: 024-531-1111

第4号議案 消費税引き上げに関する件<審議事項>

10月1日から消費税が10%に上がることに伴い、10月1日書類打刻発給分、販売分から10%の税率を適用すること及び、これに関し、各組合員に文書を発出することが了承された。

第5号議案 その他

1 東北遊連・親善ゴルフ大会について〈報告事項〉

東北遊連及び秋田県遊協より親善ゴルフ大会（9月5日開催）の案内があり、五役が参加し、協賛金として5万円を拠出した旨の報告がなされた。

2 青森県遊協・チャリティコンペについて〈報告事項〉

青森県遊協よりチャリティコンペ（9月19日開催）の案内があり、柳副理事長及び杉本専務理事が参加し、協賛金として2万円を拠出した旨の報告がなされた。

3 宮城県遊協・チャリティ親善ゴルフ大会について〈協議事項〉

宮城県遊協よりチャリティ親善ゴルフ大会（10月3日開催）の案内があり、高橋理事長、柳副理事長及び桜井副理事長が参加し、協賛金として30万円を拠出することが了承された。なお、組合員15名が参加予定の報告があった。

4 宮城県防犯協会連合会からの表彰について〈報告事項〉

毎年寄付金及び賛助金を送っていることに対し、宮城県防犯協会連合会から、感謝状授与の案内があり、10月8日太白区文化センターで行われる表彰式に、高橋理事長及び山村顧問が出席する報告があった。

5 福島県社会福祉協議会からの表彰について〈報告事項〉

毎年児童養護施設に寄付金を送っていることに対し、福島県社会福祉協議会から、感謝状授与の案内があり、10月31日須賀川アリーナで開催される表彰式に、高橋理事長及び山村顧問が出席する報告があった。

6 事務局のWi-Fi環境について〈協議事項〉

事務局より、事務局内に設置するWi-Fi環境の見積書が提出され、同見積書仕様どおり設置することが了承された。

7 事務局長の後任について〈審議事項〉

今期で契約期間が満了なる、千葉事務局長の後任について、次期も県警からの人材をお招きすることが了承された。

8 臨時総会について〈審議事項〉

臨時総会を本年11月28日（木）メルパーク仙台（予定）において開催すること。及び議案は下記2件とし、議案の詳細は次回理事会で検討することが了承された。また、臨時総会当日の出席者に対し交通費を支給することが了承された。

【提出議案】

第1号議案 政治献金に関する件

- (1) 組合が立替している、「おだち源幸」政治献金 180 万円の措置について
- (2) 今後の政治献金への組合の対応方針について

第2号議案 新規組合加入規約の一部改正に関する件

9 次回理事会の開催日程について<協議事項>

平成31年度・第4回臨時理事会を10月24日(木)午後2時から開催することとした。

以上をもって、午後3時30分、理事会を終了した。